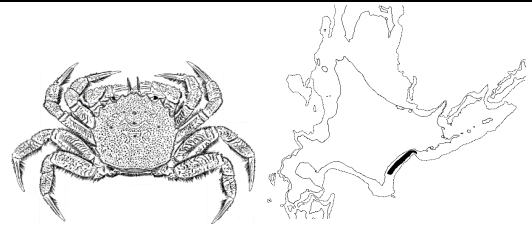


30.ケガニ

主な漁業と漁期
 けがにかご
 釧路西部：9～翌1月
 十勝：11～翌1月



釧路西部・十勝海域

生態

◆分布・回遊

釧路西部・十勝沿岸の水深150m以浅に広く分布しています。幼生期には、ふ化した水域から南西方向へ輸送され、成体期には深淺移動しながら北東へ移動する傾向があります。交尾期には20～50mの浅海域に多く分布しています。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期は10～翌3月で、抱卵期間は1～1.5年で、幼生ふ化期は1年以上経過した4月頃です。

◎産卵場：不明ですが、メスの抱卵個体は釧路海域により多く分布しています。

◎産卵生態：交尾・産卵はメスの脱皮に合わせ2～3年ごとに行われます。メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に付着させ、幼生がふ化するまで保護します。

◆成長・成熟

	甲長(mm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
2歳	46	43	53	44
3歳	59	53	116	88
4歳	71		209	
5・6歳	84		356	
7・8歳	98		580	

*) 阿部(1977)、Abe(1992)、三原ら(2016)、美坂・石田(2015)、森ら(1991)より
 *) 加齢の基準日：4月1日

◎成熟年齢・甲長

・オス：甲長46mm前後、2歳から成熟する個体がみられます。

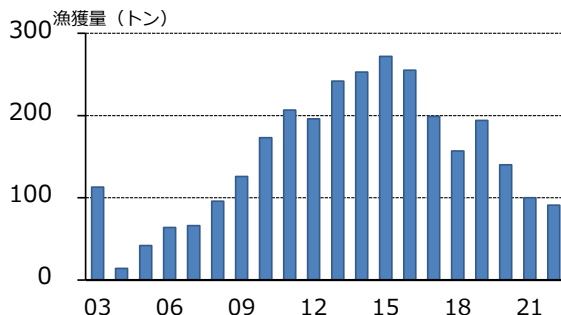
・メス：甲長43mm前後、2歳から成熟する個体が見られ、甲長60～65mm以上で半数以上の個体が成熟します。

資源評価

[評価年]4月～翌3月

[資源水準の指標] 資源調査における甲長8cm以上の雄のCPUE (kg / 100かご)

2022年度の漁獲量は91トンで、前年よりやや減少しました。資源調査の結果から、2022年の資源水準は低水準と判断されました。2023年度にかけての資源動向は資源水準が低水準に止まると考えられることから横ばいと判断されました。



2022年度
の水準



低水準

2023年度
の動向



横ばい

資源の維持・増大のために！

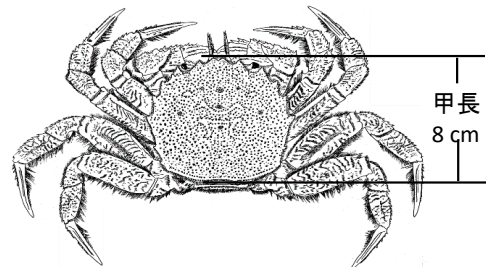
資源管理の現状(主なもの)

○北海道漁業調整規則

メス、および甲長8cm未満のオスの採捕が禁止されています。

○許可の条件等

許可隻数、漁期、かご数・目合の制限をしています。また、毎年の資源評価に基づき、許容漁獲量を定めています。



☆海洋環境変化等の不確定要因があることを踏まえ、今後もABC 目標値に基づく許容漁獲量設定など、予防的な管理方を継続する必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
 北海道立総合研究機構 釧路水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0154-23-6222